

## 社会教育委員会 会議概要

1	審議会名	第7期第4回社会教育委員会
2	日時	令和2年2月25日(火) 午後2時から4時まで
3	会場	教育委員会 第1会議室
4	出席者	関和幸委員 青木千浪委員 金子昌平委員 竹花のり子委員 小山ひとみ委員 滝澤共子委員 早坂淳委員 清水洋幸委員 西澤むめ子委員 【欠席委員：滝沢委員】
5	市側出席者	竜野生涯学習・文化財課長 中村青少年係長 八木青少年係主事 小山生涯学習係長 宮崎生涯学習係主事
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年3月6日

### 協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議事項

#### (1) 2022年度成人式について

##### 【資料による事務局の説明】

(事務局) 上田市の成人式は、新成人が実行委員となり、市・教育委員会と三者で主催している。

(委員) 18歳で成人式となると20歳を迎える方との整合性が課題。しばらくは従来どおりで、何年か経過した後に18歳での成人式も考えても良いかもしれない。

(委員) 人生の節目の式典だが、大学受験等様々な要素と重なるため、すぐの切り替えは難しい。

(委員) (高校)卒業から2年間の期間はあってもいいと思う。

(委員) 法律上の成年年齢は18歳でも喫煙飲酒は変わっていない。現状維持という市町村が多い。

(委員) 式の名称については、検討してもよいのでは。

(事務局) いただいた意見を参考にし、できるだけ早い時期に決めていきたいと思う。

#### (2) 第二次上田市生涯学習基本構想の中間見直しについて

(事務局) 関係課等に「事業の進捗状況」と「作成時に気を付けるべき観点」等を出してもらった。

当基本構想は総合計画の下にあり、掲示板等で全庁的にも広意見を募った。まちづくりの観点から住民自治(組織)がないという指摘があり、担当部署にも声をかけた。

##### 【事前配布資料でページごとに確認作業を行った】

- ・基本構想体系図：「基本方針 1- (2) 多様な学習機会の充実のために ④市民の高度化多様化する学習ニーズへの対応」の「高度化」という表現がわかりにくい  
⇒わかりやすい表現を検討する(総合計画にもあり)
- ・3ページ：現行「平成23年3月の東日本大震災、長野県北部地震では…」  
⇒変更後は、「令和元年10月の令和元年東日本台風(台風19号)」と追記する。
- ・5ページ：現行と変更後(年度表記のみになっている箇所あり)  
⇒西暦の併記。当基本構想全体を通して統一する。
- ・26ページ：現行「協働とは、市民と地域社会(自治会等)、NPOや大学と行政、また団体同士が…」変更後「協働とは、市民と地域コミュニティ(自治会、住民自治組織、市民活動団体等)と市、また団体同士が、…」  
⇒変更後記載欄に、「市民活動団体等」とあるが、現行通りNPOや大学という文言も残した方がよいのではないかと。  
変更後に「互いの利点」が追加されているが、「利点」という表現はメリットととらえられ違和感があるため再考したほうがよいのではないかと。  
⇒表現について、担当課と検討したい。
- ・その他：「公文書館」は、図書館、博物館、美術館と並ぶ重要な施設。社会教育との連携を示すためにも、基本構想に入れたほうがよいのではないかと。  
⇒入れる方向で、記載場所も含めて検討したい。

(3) 社会教育委員からの提言について

(委員) 任期である2年ごとに提言をする。それぞれ意見を持ち寄り2~3ページにまとめた  
社会教育の世界も、言葉が毎年変わっているので教えていただきながら作りたい。

(事務局) 基本構想の見直しも提言の参考にしていただければと思う。

(4) 第8期 委員改選について

(事務局) 今年いっぱい委員半数が改選となる。

(委員) 上田市の代表は上小と東信、県との関わりもある。

(事務局) 代表・代表代理の職務については、他の委員さんもいろいろな面で支えていただきたい。

4 その他 配付物について

5 閉会

※ 次回の社会教育委員会議は、令和2年度4月または5月中旬を予定。